

622 法学会討論会

〔『法学新報』第31卷1(349)号 大正10年1月1日〕

○法学会討論会 大正九年十二月五日午後一時より第八号室に於て民法問題に付法科三年の懸賞討論会を行ふ討論者十二名内積極説十一名折衷説一名討論問題は前田直之助先生の出題に係る曰く『日給五円を取得しつつありし職工甲医師某の処方箋を薬剤師丙に致し調剤を求めたる処偶々丙の不在に際し其雇人某調剤を誤りたる為め之を服用したる甲は疾病休業一个月の後死亡するに至れり依て甲の家督相続人乙は丙に対し右一个月間の日給に相当する金額及び将来甲は尚ほ十年間職業に従事し得るものとして其年月間の日給に相当する金額を損害賠償として請求したり此の請求の当否如何』受賞者は一等賞 積極説橋本三郎君、二等賞 中田玉市君、三等賞 同井上斗一君、宮下巖君なるか前田先生の講評は本誌次号に掲載せらるる筈なりと云へは略す(委員報)